



2025年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年11月11日
上場取引所 東

上場会社名 小林製薬株式会社
コード番号 4967 URL <https://www.kobayashi.co.jp/>
代表者 （役職名）代表取締役社長 （氏名）豊田 賀一
問合せ先責任者 （役職名）執行役員 財務本部長 （氏名）中川 由美 TEL 06-6222-0142
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2025年12月期第3四半期の連結業績（2025年1月1日～2025年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2025年12月期第3四半期	112,038	△2.1	11,495	△32.3	12,930	△27.9	6,809	27.4
2024年12月期第3四半期	114,459	△3.9	16,976	△12.4	17,921	△14.0	5,344	△65.5

（注）包括利益 2025年12月期第3四半期 6,146百万円（△14.3％） 2024年12月期第3四半期 7,173百万円（△69.9％）

	1株当たり 四半期純利益
	円 銭
2025年12月期第3四半期	91.60
2024年12月期第3四半期	71.90

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2025年12月期第3四半期	261,453	212,041	80.8
2024年12月期	265,368	213,471	80.2

（参考）自己資本 2025年12月期第3四半期 211,268百万円 2024年12月期 212,778百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年12月期	—	43.00	—	59.00	102.00
2025年12月期	—	44.00	—		
2025年12月期（予想）				60.00	104.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2025年12月期の連結業績予想（2025年1月1日～2025年12月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	171,000	3.3	14,000	△43.7	15,300	△43.0	10,500	4.3	141.25

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有

② ①以外の会計方針の変更：無

③ 会計上の見積りの変更：無

④ 修正再表示：無

(注) 詳細は、添付資料P.8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (会計方針の変更に関する注記)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2025年12月期3Q	78,050,000株	2024年12月期	78,050,000株
2025年12月期3Q	3,711,224株	2024年12月期	3,711,181株
2025年12月期3Q	74,338,814株	2024年12月期3Q	74,338,906株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項は、添付資料P.3「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法)

当社は2025年11月11日 (火) に機関投資家・アナリスト向け決算説明会を開催する予定です。この説明会で配布する決算説明資料につきましては、開催当日に当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更に関する注記)	8
(四半期連結貸借対照表に関する注記)	8
(四半期連結損益計算書に関する注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	9
(収益認識に関する注記)	10
(重要な後発事象の注記)	10

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当社紅麹関連製品に関して、健康被害にあわれたお客様をはじめ、株主の皆さま、当社を取り巻くすべてのご関係の皆さまに多大なるご迷惑とご心配をおかけしておりますことを、心より深くお詫び申し上げます。被害にあわれたお客様とご迷惑をおかけした企業様への補償について真摯に対応し、再発防止に向けた取り組みを進めることで、信頼回復に努めてまいります。

当第3四半期連結累計期間における当社グループをとりまく経営環境は、新型コロナウイルス感染症の落ち着いたに伴って多くの国で経済活動が再開し、国・地域を越えた移動も増加傾向になる中、原材料価格の高騰やエネルギーコスト上昇に伴う消費低迷の懸念や、地政学リスクの高まりなど、先行き不透明な状況が続きました。

その結果、売上高は112,038百万円（前年同期比2.1%減）、営業利益は11,495百万円（前年同期比32.3%減）、経常利益は12,930百万円（前年同期比27.9%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は6,809百万円（前年同期比27.4%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりです。

国内事業

当事業では、今春発売した10品目の新製品が売上増加に貢献しました。代表的な製品として、つけた瞬間に肌を冷却する「熱中対策 肌キンキンボディミスト」や、生ゴミの消臭と抗菌を両立した「ゴミサワデー 抗菌プラス」などがあります。また、訪日外国人数の増加に伴い、インバウンド需要も増加し、売上に貢献しました。

2024年3月22日の紅麹関連製品の自主回収発表以降、全製品で広告を停止し、特にヘルスケアはその影響が大きく減収が続いていましたが、2025年4月以降はその影響も一巡し、第2四半期（4～6月）から増収に転じました。加えて2025年7月からはテレビ広告を本格的に再開したこともあり、第3四半期（7～9月）は更に増収しました。日用品も同様に広告再開の影響と、引き続き製品値上げや新製品の貢献もあり、増収となりました。

一方、通販においては、定期購入の契約数が減少した影響で減収となりました。なお、自社通販サイトおよびコールセンターを通じた製品の販売は、今期をもって終了することを2025年7月8日にニュースリリースしています。

その結果、売上高は84,374百万円（前年同期比2.3%減）、セグメント利益は11,682百万円（前年同期比27.0%減）となりました。

売上高には、セグメント間の内部売上高又は振替高を含んでおり、その金額は前第3四半期連結累計期間では2,940百万円、当第3四半期連結累計期間では2,896百万円となっております。

（外部顧客への売上高の内訳）

	前第3四半期連結累計期間 （自 2024年1月1日 至 2024年9月30日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2025年1月1日 至 2025年9月30日）	増減	
	金額（百万円）	金額（百万円）	金額 （百万円）	増減率 （%）
ヘルスケア	43,109	41,456	△1,653	△3.8
日用品	35,280	36,188	907	2.6
カイロ	1,366	1,569	203	14.9
通販	3,692	2,263	△1,429	△38.7
合計	83,449	81,477	△1,971	△2.4

国際事業

当事業では、米国・中国・東南アジアを中心に、カイロや額用冷却シート「熱さまシート」、外用消炎鎮痛剤「アンメルツ」などを販売しており、広告や販売促進など積極的に投資することで、売上拡大に努めました。

米国では、2025年1月～3月は2024年の同時期と比べ、気温低下によりカイロが伸長したことと、2025年末の冬に向けたカイロの送品が好調だった影響により増収となりました。

中国では、例年に比べて発熱患者が減少したことにより、熱さまシート需要が低迷し、減収となりました。

東南アジアでは、前年の各種感染症流行の反動で熱さまシート需要が低迷したことにより減収となりました。

その結果、売上高は31,204百万円（前年同期比2.3%減）、セグメント損失は206百万円（前年同期はセグメント利益760百万円）となりました。

売上高には、セグメント間の内部売上高又は振替高を含んでおり、その金額は前第3四半期連結累計期間では1,276百万円、当第3四半期連結累計期間では1,083百万円となっております。

（外部顧客への売上高の内訳）

	前第3四半期連結累計期間 （自 2024年1月1日 至 2024年9月30日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2025年1月1日 至 2025年9月30日）	増減	
	金額（百万円）	金額（百万円）	金額 （百万円）	増減率 （%）
米国	13,774	15,480	1,705	12.4
中国	7,530	6,091	△1,439	△19.1
東南アジア	6,280	5,645	△634	△10.1
その他	3,064	2,904	△160	△5.2
合計	30,650	30,121	△529	△1.7

その他

その他には、運送業、合成樹脂容器の製造販売、不動産管理、広告企画制作等を含んでおり、各社は独立採算で経営し、資材やサービス提供についてその納入価格の見直しを適宜行いました。

その結果、売上高は4,719百万円（前年同期比0.7%増）、セグメント利益は120百万円（前年同期比11.8%減）となりました。

売上高には、セグメント間の内部売上高又は振替高を含んでおり、その金額は前第3四半期連結累計期間では4,328百万円、当第3四半期連結累計期間では4,279百万円となっております。

(2) 当四半期の財政状態の概況

総資産は、前連結会計年度末に比べ3,915百万円減少し、261,453百万円となりました。主な要因は、現金及び預金の減少（5,600百万円）、受取手形及び売掛金の減少（9,078百万円）、有価証券の減少（2,177百万円）、商品及び製品の増加（6,896百万円）、建設仮勘定の増加（5,930百万円）、のれんの減少（1,581百万円）、商標権の減少（1,602百万円）、投資有価証券の増加（4,417百万円）等によるものです。

負債は、前連結会計年度末に比べ2,485百万円減少し、49,411百万円となりました。主な要因は、未払金の減少（3,138百万円）、未払消費税等の増加（1,286百万円）等によるものです。

純資産は、前連結会計年度末に比べ1,429百万円減少し、212,041百万円となり、自己資本比率は80.8%となりました。主な要因は、利益剰余金の減少（847百万円）、その他有価証券評価差額金の増加（2,024百万円）、為替換算調整勘定の減少（2,742百万円）等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年12月期の連結業績予想につきましては、2025年2月10日付け公表の「2024年12月期 決算短信」に記載の業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	50,873	45,273
受取手形及び売掛金	49,442	40,363
有価証券	14,872	12,695
商品及び製品	15,143	22,040
仕掛品	2,091	2,053
原材料及び貯蔵品	6,929	6,537
その他	5,174	3,135
貸倒引当金	△58	△66
流動資産合計	144,468	132,032
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	32,461	34,240
機械装置及び運搬具（純額）	6,476	6,113
工具、器具及び備品（純額）	2,485	2,526
土地	5,947	5,949
リース資産（純額）	815	673
建設仮勘定	19,261	25,191
有形固定資産合計	67,448	74,695
無形固定資産		
のれん	9,260	7,678
商標権	8,220	6,617
ソフトウェア	2,662	2,855
その他	530	487
無形固定資産合計	20,674	17,640
投資その他の資産		
投資有価証券	24,617	29,035
長期貸付金	1,269	1,350
退職給付に係る資産	750	835
繰延税金資産	3,087	3,300
投資不動産（純額）	2,650	2,627
その他	1,730	1,330
貸倒引当金	△1,328	△1,394
投資その他の資産合計	32,777	37,084
固定資産合計	120,900	129,420
資産合計	265,368	261,453

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,264	8,514
電子記録債務	6,424	6,506
未払金	17,117	13,978
リース債務	343	342
未払法人税等	1,913	639
未払消費税等	346	1,633
賞与引当金	2,840	1,618
製品回収関連損失引当金	3,970	3,082
その他	5,202	5,999
流動負債合計	46,423	42,314
固定負債		
リース債務	503	362
繰延税金負債	1,554	3,154
退職給付に係る負債	1,005	1,035
その他	2,409	2,543
固定負債合計	5,473	7,096
負債合計	51,896	49,411
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,450	3,450
資本剰余金	522	522
利益剰余金	208,240	207,393
自己株式	△24,767	△24,767
株主資本合計	187,445	186,598
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	12,469	14,493
為替換算調整勘定	12,300	9,558
退職給付に係る調整累計額	563	618
その他の包括利益累計額合計	25,333	24,670
新株予約権	688	768
非支配株主持分	4	4
純資産合計	213,471	212,041
負債純資産合計	265,368	261,453

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位: 百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)
売上高	114,459	112,038
売上原価	51,763	53,176
売上総利益	62,695	58,861
販売費及び一般管理費	45,719	47,365
営業利益	16,976	11,495
営業外収益		
受取利息	159	210
受取配当金	307	341
不動産賃貸料	223	229
その他	717	1,163
営業外収益合計	1,409	1,944
営業外費用		
支払利息	23	15
不動産賃貸原価	79	78
為替差損	125	155
その他	236	260
営業外費用合計	464	510
経常利益	17,921	12,930
特別利益		
固定資産売却益	8	55
投資有価証券売却益	0	110
その他	0	17
特別利益合計	9	183
特別損失		
固定資産処分損	44	35
製品回収関連損失	9,947	3,386
その他	658	424
特別損失合計	10,650	3,846
税金等調整前四半期純利益	7,279	9,266
法人税、住民税及び事業税	3,142	2,328
法人税等調整額	△1,208	128
法人税等合計	1,933	2,456
四半期純利益	5,346	6,809
非支配株主に帰属する四半期純利益	1	0
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,344	6,809

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)
四半期純利益	5,346	6,809
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	800	2,024
為替換算調整勘定	953	△2,742
退職給付に係る調整額	73	54
その他の包括利益合計	1,827	△662
四半期包括利益	7,173	6,146
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	7,171	6,147
非支配株主に係る四半期包括利益	1	△0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更に関する注記)

(グローバル・ミニマム課税制度に係る法人税等の会計処理及び開示に関する取扱いの適用)

「グローバル・ミニマム課税制度に係る法人税等の会計処理及び開示に関する取扱い」（実務対応報告第46号2024年3月22日）を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。なお、当該実務対応報告第7項を適用しているため、当第3四半期連結財務諸表においては、グローバル・ミニマム課税制度に係る法人税等を計上しておりません。

(四半期連結貸借対照表に関する注記)

(偶発債務)

当社が販売した機能性表示食品「紅麹コレステヘルプ」に関する健康被害や自主回収情報等を2024年3月22日に当社が公表して1年以上経過しましたが、引き続き企業様からの回収費用に係る情報収集及びその費用のお支払いや、健康被害にあわれたお客様からの補償申請書類の確認や医療費等の補償のお支払いを順次進めているところです。

当該事象に関連して、主に（1）企業様向け紅麹原料の回収費用、（2）健康被害にあわれたお客様への補償費用について、現時点で合理的に見積り可能な範囲内で、製品回収関連損失引当金として計上しておりますが、訴訟等、現時点で合理的な見積りに及ばない範囲については、当社がその総額を合理的に見積ることは困難であり、追加的に費用が発生する可能性があります。

(1) 企業様向け紅麹原料の回収費用

当社が販売していた紅麹原料は当社の直接的な取引企業52社を通して国内外の取引先様に販売されてきました。これら当社グループの取引先様において、関連製品の回収が実施されており、取引先様には関連製品の回収費用に係る情報の収集をお願いしております。取引先様から個別に収集した関連製品の回収費用に係る情報等に基づき、今後発生が見込まれる費用について、現時点で合理的に見積り可能な範囲内で、見積り計上しております。

(2) 健康被害にあわれたお客様への補償費用

2024年8月8日に公表した「当社の紅麹コレステヘルプ等の摂取により健康被害にあわれたお客様への補償について」に記載された補償方針及び補償内容並びにこれらに沿って設定した補償算定基準に基づき、医療費・交通費、慰謝料、休業補償、後遺障害による逸失利益等の補償を進めております。通院や入院等の状況及び慰謝料や休業補償、逸失利益等の算定単価に基づき、今後発生が見込まれる補償費用について、現時点で合理的に見積り可能な範囲内で、見積り計上しております。

(四半期連結損益計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間において、紅麹関連製品の回収及びその関連費用等について、製品回収関連損失3,386百万円を特別損失として計上しております。製品回収関連損失の主な内訳は、企業様向け紅麹原料の回収費用、健康被害にあわれたお客様への補償費用及び製品回収関連損失引当金の繰入等となります。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)
減価償却費	4,870百万円	5,446百万円
のれんの償却額	1,053	1,032

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自 2024年1月1日 至 2024年9月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	国内 事業	国際 事業	計				
売上高							
日本	83,449	—	83,449	359	83,809	—	83,809
米国	—	13,774	13,774	—	13,774	—	13,774
中国	—	7,530	7,530	—	7,530	—	7,530
東南アジア	—	6,280	6,280	—	6,280	—	6,280
その他	—	3,064	3,064	—	3,064	—	3,064
顧客との契約から生じる 収益	83,449	30,650	114,099	359	114,459	—	114,459
外部顧客への売上高	83,449	30,650	114,099	359	114,459	—	114,459
セグメント間の内部売上 高又は振替高	2,940	1,276	4,217	4,328	8,545	△8,545	—
計	86,390	31,926	118,317	4,687	123,005	△8,545	114,459
セグメント利益	15,995	760	16,756	136	16,893	83	16,976

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運送業、合成樹脂容器の製造販売、不動産管理、広告企画制作等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額83百万円は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自 2025年1月1日 至 2025年9月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	国内 事業	国際 事業	計				
売上高							
日本	81,477	—	81,477	439	81,917	—	81,917
米国	—	15,480	15,480	—	15,480	—	15,480
中国	—	6,091	6,091	—	6,091	—	6,091
東南アジア	—	5,645	5,645	—	5,645	—	5,645
その他	—	2,904	2,904	—	2,904	—	2,904
顧客との契約から生じる 収益	81,477	30,121	111,598	439	112,038	—	112,038
外部顧客への売上高	81,477	30,121	111,598	439	112,038	—	112,038
セグメント間の内部売上 高又は振替高	2,896	1,083	3,980	4,279	8,260	△8,260	—
計	84,374	31,204	115,578	4,719	120,298	△8,260	112,038
セグメント利益又は損失 (△)	11,682	△206	11,475	120	11,595	△100	11,495

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運送業、合成樹脂容器の製造販売、不動産管理、広告企画制作等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額△100百万円は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(収益認識に関する注記)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「注記事項（セグメント情報等の注記）」に記載のとおりであります。

(重要な後発事象の注記)

該当事項はありません。